

平成 2 4 年行政事業レビューシート										（環境省）	
事業名		未規制物質を含む廃棄物に係る処理基準等検討調査			担当部局庁		大臣官房廃棄物・リサイクル対策部			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成25年度～			担当課室		産業廃棄物課			産業廃棄物課長 廣木 雅史	
会計区分		一般会計			施策名		4-4 産業廃棄物対策（排出抑制・リサイクル・適正処理等）				
根拠法令 （具体的な条項も記載）		廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第12条第1項(産業廃棄物処理基準)等			関係する計画、通知等		-				
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）		廃棄物処理法において、有害物質等として規制されていない物質を含む廃棄物に係る処理基準等を設定し、生活環境への影響を未然に防止する。									
事業概要 （5行程度以内。別添可）		専門家による委員会を開催し、課題を抽出した上で、処理業者等に対する実態調査を実施する。 実態調査結果をふまえ、有識者による技術的な検討を行った上で、基準等について制度的な検討を実施する。									
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 （単位：百万円）				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	7			
			補正予算	-	-	-	-				
			繰越し等	-	-	-	-				
			計	-	-	-	-	7			
		執行額		-	-	-					
		執行率（％）		-	-	-					
成果目標及び成果実績 （アウトカム）		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 （年度）	
		課題の解決策に向けた方策の検討を行うものであり、成果実績の数値化は困難			成果実績	百万円	-	-	-	-	
					達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 （アウトプット）		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
		課題の解決策に向けた方策の検討を行うものであり、活動実績の数値化は困難			活動実績 （当初見込み）	件	-	-	-	-	
							(-)	(-)	(-)	(-)	
単位当たりコスト		(円／)			算出根拠						
平成24・25年度予算内訳	費 目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由						
	環境保全調査費			7	新規要求						
	計			7							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	廃棄物処理法において、有害物質等として規制されていない物質を含む廃棄物に係る処理基準等を設定するため、国が実態調査や制度的な検討を実施するもの。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果			
予算監視・効率化チームの所見			
	－	有害物質等として規制されていない物質を含む廃棄物に係る処理基準等を設定し、生活環境への影響を未然に防止するために、効率的かつ効果的な事業実施に努めること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	－	平成23年行政事業レビュー	－